

第 50 回触媒フォーラム(50th 記念)
「これからの社会に求められる触媒技術、現状と今後の展望」

主催；触媒学会

協賛；化学工学会、石油学会、日本エネルギー学会、日本化学会

日時；2015 年 1 月 23 日（金）13：30～18：00、 1 月 24 日（土）9:40～12：00

会場；佐島マリーナ

〒240-0103 神奈川県横須賀市佐島 3-7-4 TEL 046-856-0141(代表)

<http://sajimamarina-hotel.com/>

アクセス

電車：JR 横須賀線・逗子駅前（2 番バス停発）または京急・新逗子駅より「佐島マリーナ」行きバス（[時刻表参照](#)）に乗車約 40 分。終点下車徒歩 5 分。

お車：横浜横須賀道路・横須賀インターより阿部倉トンネルを経て右折し坂本芦名線に入り大楠山入口を右折、134 号大楠小学校入口を左折。（横須賀インターより 9 km 12 分）

※横須賀インターからの地図はこちらをご覧ください。 - - > [横須賀インターからの地図](#)

【第 50 回触媒フォーラム開催の主旨】

今回の触媒フォーラムは 50 回目の節目にあたることから、将来技術を志向した内容で企画しました。触媒学会では、昨年度、触媒技術のロードマップを編纂（『触媒技術の動向と展望 2014』にて公表）しており、今回は、このロードマップをベースとして代表的技術分野をピックアップし、講師の先生には技術の流れと今後の有望技術をトピックス的に紹介していただくことにいたしました。さらに、今回は十分に時間を確保して議論・討論を深めるべく、会場を風光明媚な佐島マリーナに用意し、1 泊 2 日で企画いたしました。相模湾に浮かぶ江の島、富士山を眺める絶好のロケーションにあり、じっくりと技術のアイデアを創造する機会にさせていただければと思います。多数のご参加をお願いいたします。

プログラム；

【1】 第 1 部 エネルギー・環境関連分野における触媒技術の現状と展望、トピックス

1 月 23 日(金) 現地 佐島マリーナ 受付 13：30～

14:00-14:10 はじめに 小宮三四郎先生（企画・教育委員長・学会副会長）

14:10-14:50 「工業触媒技術の現状と展望」 濱田秀昭先生（触媒学会会長）

14:50-15:30 「エネルギー関連；資源エネルギーと触媒技術の展望」 関根泰先生（早稲田大学）

15:30-16:10 「エネルギー関連；光触媒技術の現状と展望」 堂免一成先生（東京大学）

16:10-16:50 「トピックス ；人工光合成による太陽光エネルギーの物質変換システム」

井上晴夫先生（首都大学東京）

16:50-17:30 「環境関連；排気浄化触媒の現状と展望」 小倉 賢先生（東京大学）

17:30-18:00 「トピックス；オンボード燃料改質触媒技術」 星野真樹先生（日産自動車）

（18:20～夕食）

19:30～21:30 これからの触媒技術＜討論＞

21:30～懇親会

[2] 第2部 化学品製造、バイオマス利用、新規触媒分野

1月24日（土）

（朝食）

9:40-10:30 「ファインケミカルズ関連触媒の現状と展望」 野村琴広先生（首都大学東京）

10:30-11:20 「バイオマス利用関連触媒の現状と展望」 富重圭一先生（東北大学）

11:20-12:00 「非従来型・非平衡新規触媒技術への展望—再生可能なエネルギーから変換した電磁波・電気
を利用する触媒化学」 和田雄二先生（東工大）

12:00-昼食後解散

参加費；

主催・協賛学会個人会員 7,000円、主催・協賛学会団体会員 10,000円、

触媒学会シニア会員・学生 2,000円、非会員 20,000円、

ご宿泊参加者は上記に10,000円追加となります。

懇親会費は別途2,000円となります。

参加費は当日受付にてお願いいたします。

参加申込方法；

「第50回触媒フォーラム」参加申込みと表記し、御氏名、勤務先、連絡先、会員区分、講演・討論会・交流会参加・宿泊の有無を明記の上、12月19日（金）までに下記E-mail宛にお申込み下さい。

連絡先；

〒237-8523 神奈川県横須賀市夏島町1番地 日産自動車（株）総合研究所 先端材料研究所

赤間 弘 E-mail; a-hiroshi@mail.nissan.co.jp / Tel; 050-3751-6879